

原文部分：

## 過密と過疎のコントラスト

むろん笑話のたぐいだが、謹厳なイギリス人は夏至を「昼間が一番長い日」と言い、フランス人なら「夜が一番短い日」と言うそうだ。同じものを見ても感じ方が違う。先の小欄で通勤電車の苦痛を書いたら、そんなジョークを思い出す便りを頂いた。

島根県の林秀子さん（63）が住む地方の鉄道は乗客が少ない。あるとき乗ったら、1両だけの車内は自分ひとり。途中で二人乗ってきたが、その後は乗り降りもなく、運転士の「よし」「よし」という確認の声だけが寂しく響いていたそうだ。

「満員電車の皆様からすれば（がら空き列車は）贅沢な悩み？こちらからすれば満員電車なんて贅沢な悩み？」——。手紙は過疎と過密の不均衡を簡潔に突いていて、考えさせられた。

地方からの人口流出は今も続き、総務省によれば、今年3月末の東京、名古屋、関西の三大都市圏の人口は過去最高となっ

た。1億2623万人の51%が居住している。片や、39の道府県では人口は減っている。

今では信じがたいが、明治半ばの人口最多は新潟県だった。米どころの地力だろう。だが、その後の工業化で太平洋側の都市が膨らみ続ける。戦後の66年を歩んでいま、過疎の地の現状はいつそう厳しい。

「わたしたちは前へ前へと走りすぎました。(故郷を)振り返ってみるとすばらしいものがあるのに」と手紙は続いていた。道路や鉄道は「帰りなんいざ」の帰省ラッシュ。都市と地方が互いに思う「贅沢」を、うまく中和させる妙手はないか。

2011年8月13日

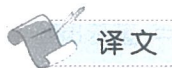


第 1 节

過密と過疎のコントラスト

むろん<sup>わらいばなし</sup>笑話のたぐいだが、<sup>きんげん</sup>謹厳なイギリス人<sup>じん げし</sup>は夏至を  
 「<sup>ひるま</sup>昼間が<sup>いちばんなが</sup>一番長い日」と言い、<sup>じん</sup>フランス人なら「<sup>よる</sup>夜が<sup>いちばんみじか</sup>一番短  
 い日」と言うそうだ。同じものを見ても感じ方が違う。先の  
<sup>しょうらん</sup>小欄で<sup>つうきんでんしゃ</sup>通勤電車の<sup>くつう</sup>苦痛を書いたら、<sup>おな</sup>そんな<sup>じョーク</sup>ジョークを思い出  
<sup>たよ</sup>す便りを<sup>いただ</sup>頂いた①。

<sup>しまねけん</sup>島根県の<sup>はやしひでこ</sup>林秀子さん(63)が<sup>す</sup>住む<sup>ちほう</sup>地方の<sup>てつどう</sup>鉄道は<sup>じょうきやく</sup>乗客が少  
 ない。あるとき<sup>の</sup>乗ったら、<sup>りょう</sup>1両だけの<sup>しやない</sup>車内は<sup>じぶん</sup>自分ひとり。と  
<sup>ちゆう</sup>中で<sup>ふたりの</sup>二人乗ってきたが、<sup>ご</sup>その<sup>の</sup>後は<sup>お</sup>乗り<sup>うんてんし</sup>降りもなく、<sup>うんてんし</sup>運転士の  
 「よし」「よし」という<sup>かくにん</sup>確認の<sup>こえ</sup>声だけが<sup>さび</sup>寂しく<sup>ひび</sup>響いていたそう  
 だ②。



译文

人口过密和过疏之反差对比

当然，这只算是个笑话：据说，严谨的英国人把夏至称为“白昼最长的一天”，而法国人则称它为“黑夜最短的一天”。这说明了人们对同一事物的看法（直译：感受）会有所不同。先前我在敝栏目曾写过有关上下班挤电车苦不堪言的文章，后来收到了一封（回应此文的读者）来信，

这使我想起了这个笑话。

岛根县的林秀子女士（63岁）住的地方，乘铁道列车的旅客很少。有一次，她乘车时，仅有一节车厢的列车上只有她自己一个人。途中上来了两个人，之后就再没有上下车的了，只有司机“好！”“好！”的确认声在孤寂地回响着。

- ① **注解** 这句的主语是“我”，即本专栏的作者。「そんなジョークを思い出す便りを頂いた」是指作者收到了读者来信，这封来信使他想起了这个笑话，而不是使读者想起了这个笑话。
- ② **注解** 「確認の声」是指司机探头至车外或走出车外确认有没有人上下车，如没有人上下车，就说「よし」，然后把车门关上再开车。



生词&例句

【コントラスト】contrast。对比；对照；反差。

- <例句> ● 著しいコントラストを示している。⇒ 显示出鲜明的对比。
- AとBのコントラストがおもしろい。⇒ A与B对比起来很有趣。

【むろん】<sup>もちろん</sup>【無論】当然；不用说。

- <例句> ● むろん彼も来ます。⇒ 他当然要来。
- 夫はむろん、子どもも賛成してくれた。⇒ 不用说我丈夫，连孩子都同意了。

【たぐい】<sup>たぐい</sup>【類】一类；同类。

<例句> ●これは虫のたぐいだ。⇒ 这属于虫子一类。

●このたぐいには関心がない。⇒ 对这类事物不关心。

【ジョーク】joke。笑话；玩笑。

<例句> ●つまらないジョークを飛ばす。⇒ 说些无聊的笑话。

●母にはそのジョークが伝わらなかったようだ。⇒  
我妈好像没听懂那个笑话。

【便り】<sup>たよ</sup>(1) 消息；信息。(2) 信；音信。

<例句> ●花の便り。⇒ 花讯。

●家からの便り。⇒ 家书。家信。

【乗り降り】<sup>の お</sup>上下(车、船等)。

<例句> ●電車の乗り降りに注意する。⇒ 上下电车时要留神。

●どの駅でも乗り降りの客が多かった。⇒ 各站上下  
车的乘客都很多。

【響く】<sup>ひび</sup>响亮；响起来；发出音响。

<例句> ●お寺の鐘の音が響く。⇒ 传来了寺院的钟声。

●彼の声はよく響く。⇒ 他的声音很宏亮(传得很远)。

## 第 2 节

「満員電車の皆様からすれば(がら空き列車は)贅沢な悩み?こちらからすれば満員電車なんて贅沢な悩み?」——。  
手紙は過疎と過密の不均衡を簡潔に突いていて、考えさせられた。

ちほう じんこうりゅうしゅつ いま つづ そうむしょう ことし  
 地方からの人口流出は今も続き、総務省によれば、今年  
 がつまつ とうきょう なごや かんさい さんだいとしけん じんこう か ことさいこう  
 3月末の東京、名古屋、関西の三大都市圏の人口は過去最高  
 となった。おく まんにん きょじゅう かた  
 1億2623万人の51%が居住している。片や、39の  
 どうふけん じんこう へ  
 道府県では人口は減っている。



译文

“对（经常）乘坐拥挤电车的人而言，（乘坐空荡荡的列车）是一种奢侈（直译：奢侈的烦恼）吧！而对于我们这里的人来说，（乘坐）拥挤的电车则是另一种奢侈。”……信中简洁地指出了人口过疏与过密的不均衡问题，令我深思。

地方上的人口流失至今仍在持续。据总务省统计，至今年3月底，东京、名古屋、关西等三大都市圈的人口已创历史最高记录，占全国总人口1亿2 623万人的51%都居住在这些地区，而39个道、府、县的人口在不断减少。



生词&例句

【がら空き<sup>あ</sup>】空空的；空荡荡的。

<例句> ●車内はがら空きだった。⇒ 车里空无一人。

【過疎<sup>かそ</sup>】（人口）过稀；过少。

<例句> ●過疎の山村。⇒ 人口稀少的山村。

●過疎化に歯止めをかける。⇒ 控制人口过稀的问题。

【突<sup>つ</sup>く】刺；扎；戳；撞。

<例句> ●棒で突く。⇒ 用棍子戳。

- 子どものひと言が胸をついた。⇒ 被孩子的一句话点中了要害。

【片や】一方。

- <例句> ●片やベテラン、片や新人。⇒ 一方是老手，另一方是新手。

### 第 3 节

今では信じがたいが、明治半ばの人口最多は新潟県だった。米どころの地力だろう③。だが、その後の工業化で太平洋側の都市が膨らみ続ける。戦後の66年を歩んでいま、過疎の地の現状はいっそう厳しい。

「わたしたちは前へ前へと走りすぎました。(故郷を)振り返ってみるとすばらしいものがあるのに」と手紙は続いていた。道路や鉄道は「帰りなんいざ」の帰省ラッシュ④。都市と地方が互いに思う「贅沢」を、うまく中和させる妙手はないか⑤。

#### 译文

现在听起来也许令人难以置信，但在明治（1868-1912）中叶，人口最多的地区却是新潟县，原因或许是此处盛产稻米吧。但随后的工业化使太平洋沿岸的城市（人口）持续膨胀。战后66年过去了，现在人口过疏地区的现状变得更加严峻。



来信继续写道：“我们往前跑得太远了，其实回头看看（故乡），会发现那里（有很多）美好的事物。”公路和铁路上呈现出一阵阵“归去来兮”的返乡热潮。我们有没有什么妙招能中和一下城市和地方彼此羡慕的“奢侈”现象呢？

③ 注解 在这里，“地力”读「ちりょく」，意思是“土地的生产或生长能力”，如「地力が落ちた」指土地的生长情况变弱或不理想。需要注意的是，此词还有另一个读音「じりき」，意思是“实力”，如「彼には地力がある」（他有实力）。注意不要把两者弄混。

④ 注解 「帰りにんいざ」源自陶渊明《归去来兮辞》中的“归去来兮，田园将芜胡不归！”日语的译文是「帰りにんいざ、田園将に蕪れんとす、胡ぞ帰らざる」。整个句子是指在盂兰盆节期间（8月），日本各单位都按惯例放大约一个星期的假，在城市工作的人往往利用这个长假带着家属回故乡探亲、祭祖。因此，每年这一时期的人口大流动都会造成一时性的交通堵塞。

⑤ 注解 这里所说的「警况」，就是上文中提到的「満員電車の皆様からすれば（から空き列車は）警况な悩み？」→“对（经常）乘坐拥挤电车的各位而言，（乘坐空荡荡的列车）是一种奢侈吧！而对于我们这里的人来说，（乘坐拥挤的电车则是另一种奢侈。”





## 生词&例句

【一がたい】【一<sup>がた</sup>難い】(动词连用形+がたい) 难以……。

<例句> ● 筆舌に尽くしがたい。⇒ 难以笔墨形容。

● 善悪いずれとも判断し難い。⇒ 难以判断是善还是恶。

【<sup>なか</sup>半ば】 中间; 中途。

<例句> ● 10月の半ばには帰ってくる。⇒ 十月中旬回来。

● 学業半ばにして病に倒れた。⇒ 在学业中途病倒了。

【一<sup>どころ</sup>どころ】【一<sup>どころ</sup>所】(1) 值得……的地方; 应该……的地方。  
(2) 生产……的地方。

<例句> ● 聞きどころ。⇒ 值得听的地方。

● ここが我慢のしどころだ。⇒ 这正是应该忍耐的时候(地方)。

● 茶どころ。⇒ 产茶区。

● 米どころ。⇒ 稻米产地。

【<sup>ちりよく</sup>地力】 地力; 土地生产能力。

<例句> ● 地力を保つ。⇒ 保持地力。

【<sup>ふく</sup>膨らむ】 膨胀; 胀起来。

<例句> ● 空気を入れると膨らんで水に浮く。⇒ 充气膨胀后可浮于水面。

● 貿易赤字が膨らむ。⇒ 贸易赤字膨胀。

● 経費が予想以上に膨らんだ。⇒ 经费出乎预料地膨胀起来。

【<sup>ふ</sup>振り<sup>かえ</sup>返る】(1) 回头看; 回过头去。(2) 回顾; 回首。

<例句> ● ぽんと肩をたたかれたので振り返って見たら中学

時代の親友だった。⇒ 被人拍了一下肩膀，回头一看，原来是中学时代的好友。

- この1年を振り返るといろいろなことがあった。⇒ 回顾过去一年，发生了许多事情。

【ラッシュ】rush。(1) 拥挤。(2) 热潮；高峰。

<例句> ●ラッシュアワー。⇒ (交通车辆) 拥挤时刻。上下班高峰时间。

- けさの電車はひどいラッシュだった。⇒ 今早，电车里拥挤不堪。

- 出産ラッシュ。⇒ 出生高峰。

【妙手<sup>みょうしゅ</sup>】(1) 名家；名手。(2) 绝妙的招数；妙招。

<例句> ●ピアノの妙手。⇒ 钢琴名家。

- 碁で妙手を打つ。⇒ 下围棋使出绝妙的招数。

日语难读词之角

- 仲人 (なこうど)：媒人；婚姻介绍人。

仲人をする。⇒ 做媒。

- 仲人 (ちゅうにん)：(1) 调解人；仲裁者。(2) 媒人；婚姻介绍人。

見兼ねて仲人を買って出た。⇒ 因看不过去，主动出来调解。

結婚の仲人になる。⇒ 做结婚介绍人。

- 逆鱗 (げきりん)：逆鳞；触怒上级、长辈等。

逆鱗に触れる。⇒ 触逆鳞。触怒上级、长辈。